

文部科学省 令和2年度「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業」実証事業

未来の  
山梨を  
作る

# ウーマンズコミュニティー プログラム



## ウーマンズコミュニティプログラム

山梨大学は、「地域の中核・世界の人材」をキャッチフレーズに、地方大学ならではの地域の人材・企業・教員が集まる地域のプラットフォームとしての存在価値を活かし、男女共同参画推進室を基盤に地域人材養成センターと協力することにより、若手や女性の定着について、産学連携による様々な取り組みを行っています。

「未来の山梨を作るウーマンズコミュニティプログラム」は、企業で働く女性に対し、多様な学びと仲間づくりの機会を提供することを第一の目的としています。本事業では、女性社員に従来の研修とは異なり、「座学」、「自社以外の企業へのインターンシップ」、「女性メンターの配置」の3点を主要な要素と考えており、それらを通し、それぞれの領域で「未来の山梨」を作るコミュニティを形成し、かつ、そのコミュニティを牽引するリーダーを育てることをサポートしています。



## プログラム特徴

### ● キャリアをデザインする自己育成の力

仕事と家庭の両立のためのスキル（家庭におけるコミュニケーションおよび職場におけるコミュニケーションスキル、仕事を段取りする力等）や、社会や会社の変化に対応し続ける力を養うことを目的とし、自身を見直し、気持ちをリセットさせ、働き方や生き方を再考していきます。

### ● 他社企業へのインターンシップ

他社でのインターンシップを通して自社以外の企業を知ることで、自分自身の考え方や自社の価値を客観化し、自身の強み、自社の強みを整理することができます。

### ● 女性メンターとの交流

各界で活躍する女性メンターとの交流により、一人で抱えてきた問題の解決の糸口を得ることができます。

### ● 新たなコミュニティの形成

同じ志を持つ意識の高い仲間との出会い。また、社外での人脈形成による、企業間のアライアンスや協業などの可能性も目指します。

### ● インターンシップレポートの活用

「インターンシップレポート」を受け入れ先企業に提出します。受け入れ側の企業は、企業外人材による外部評価を得られることになり、送り出した企業と同時に自社を見直す機会となります。

## プログラム詳細



### 社会の変化と これからの女性の生き方

3時間 座学

本講座では、働く女性を取り巻く社会環境がどのように変化してきているかを知識として得ながら、その変化の中で誰もが自分らしく活躍できるための考え方を、ディスカッションやワークを通して学びます。

### 自分の魅力の発掘

3時間 座学

本講座では今までの職務経験だけでなく、ライフキャリアを振り返り、自身が培ってきたスキルや活かしてきた能力、そして自身が大事にしている価値観をあらためて見える化していきます。

### アサーティブ コミュニケーション

3時間 座学

職場に限らず家庭内でも必要になる、相手を尊重しながら適切な方法で自己主張していくコミュニケーションのとり方を学んでいきます。

### インターンシップ準備 (個別コーチング)

各1時間程度オンライン

インターンシップ先の事前学習、および、どのようなことを学んでくるのかについて設計し、準備をします。

### 他社での インターンシップ

3時間 × 10回 (各社と調整)

コーディネーターと調整で決めた企業に訪問し、企業トップや働くメンバーと意見交換や、業務の体験などを行う中で、他組織と自組織の違いや共通点、優れた点や提案事項などを整理します。

### インターンシップ報告会 振り返りとこれからのプランニング

3時間 座学

時間の前半は研修に送り出した企業やインターンシップ受け入れ企業も招き、一人10分程度のプレゼン発表によるインターンシップ報告会を行います。後半は、今までの学びとインターンシップでの経験の振り返りをもとに、時代の変化、自身の変化に合わせたこれからのライフキャリアのアクションプランを設計します。

## 担当講師紹介とコメント



### 木下 紫乃

株式会社ヒキダシ 代表取締役社長

担当講座

「社会の変化とこれからの女性の生き方」

「自分の魅力の発掘」

世代の幅、また所属組織の規模の違い等はありませんでしたが、それぞれの視点で問題意識をお持ちの方が多く印象でした。特に女性の活躍という点においては、自分ごととしての課題意識をしっかり持っていらっしゃる様子が発言などから伺えました。一方でこれから「自分が女性リーダーとしてどうありたいか」という視点では、マインドセット、スキルセットとも含めメンバーに幅が見られました。育成の余地が見られる部分だと思われます。



### 渡辺 亜紀

株式会社アルマ 代表取締役

担当講座

「アサーティブコミュニケーション」

年代には幅がありましたが、受講者は互いに積極的に、且つフラットに話し合っていました。総じて、自社以外の職場を知らないため、他社のダイバーシティの取り組みや働き方の改善に興味関心が向いていました。同時に、対上司、対部下・後輩といった人間関係においては共通の悩みを抱えており、互いの今までの課題の乗り越え方に共感が寄せられていました。自身のコミュニケーション方法を今一度見直すことを通して、各自が自社や自身のキャリアの中だけでは得られなかった発見や今後の自身の課題に前向きに取り組むモードになったことが最大の収穫と考えます。



### 渡辺 郁

株式会社アンサーノックス 代表取締役

担当

インターンシップ全般 兼プログラムコーディネーター

受講生にとっては、普段企業内に於いてはなかなか受けることのない座学を含めた研修が馴染みやすかったように思えました。自社以外知らないという受講生が多かったため、他社の社員との交流はそれぞれにとって実り多い時間であったように見受けられました。年代には幅がありましたが、年代ごとの悩みを共有できた点は有意義であったと思われます。その一方で、この研修への参加はトップからの指示だったというスタンスが感じられる場面があり、やや残念に感じました。受講生にとってより有意義な経験とできるよう、次年度のプログラムを改善する余地も感じています。

## 受講生感想（アンケートより）

レポートなどで多くの意思決定層に受講内容を伝えていきたいと感じました。自社の女性活躍における遅れに危機感を感じ、具体的に取り組むべきことを発見できたと共に、発見できたことをどのように自社に反映できるかが次のステップ（課題）だと感じました。

今回プログラムに参加して得た気づきを今後の日々の生き方・考え方に反映させていきたいと思います。漠然とした今後への不安が薄らぎ、自分として今何ができるか、何をやりたいかということに素直に向き合おうと思えるようになりました。仕事や家庭だけに留まらず、広く関心を持ちたいと考えようになり、これからは楽しみになりました。

人間関係やコミュニケーションのとり方を深く考え、職場で活かして、信頼される人間になれるよう頑張っていきたいと思います。受講前に比べて、自分自身に自信が持てるようになりました。また、相談された時に、自分の思いや考えをオープンにすることで、相談されるが増えました。

職場で勉強会などを開催したいと思います。自信がなく遠慮がちでしたが、積極的に行動しようと前向きになれました。

働き方を見直し、自身の人生を楽しむことに重きを置こうと思うようになり、考え方が変わりました。



## 女性メンター紹介と感想



### 秋口 万貴子

メンタリングの中で自信がないという共通の悩みがありました。皆さん、しっかり仕事で信頼を受けているので、弱みよりも強みを見て自信をもってください。皆さんらしい仕事のアイデアのお話もできました。多様性が求められる中、これまでと同じやり方にこだわらず、皆さんらしさを発揮してください。そのとき、違いを尊重して丁寧なコミュニケーションをとるといいと思います。メンタリングで私自身も気づき、学びがたくさんありました。



### 庄 昌子

メンタリングを通して、様々なバックグラウンドを持つ皆さんとお話する機会をいただき、全ての対話が私自身にとっての気づきの連続でもありました。「ウーマンズコミュニティプログラム」が、皆さんに新たなつながりを作り、それぞれが抱えている悩みや課題を新しい視点から見ることを可能にし、それがまた新しい人や学びにつながる、よい循環を作っているんだな、と感じました。その一部に少しでも貢献できたようなら、幸いです。

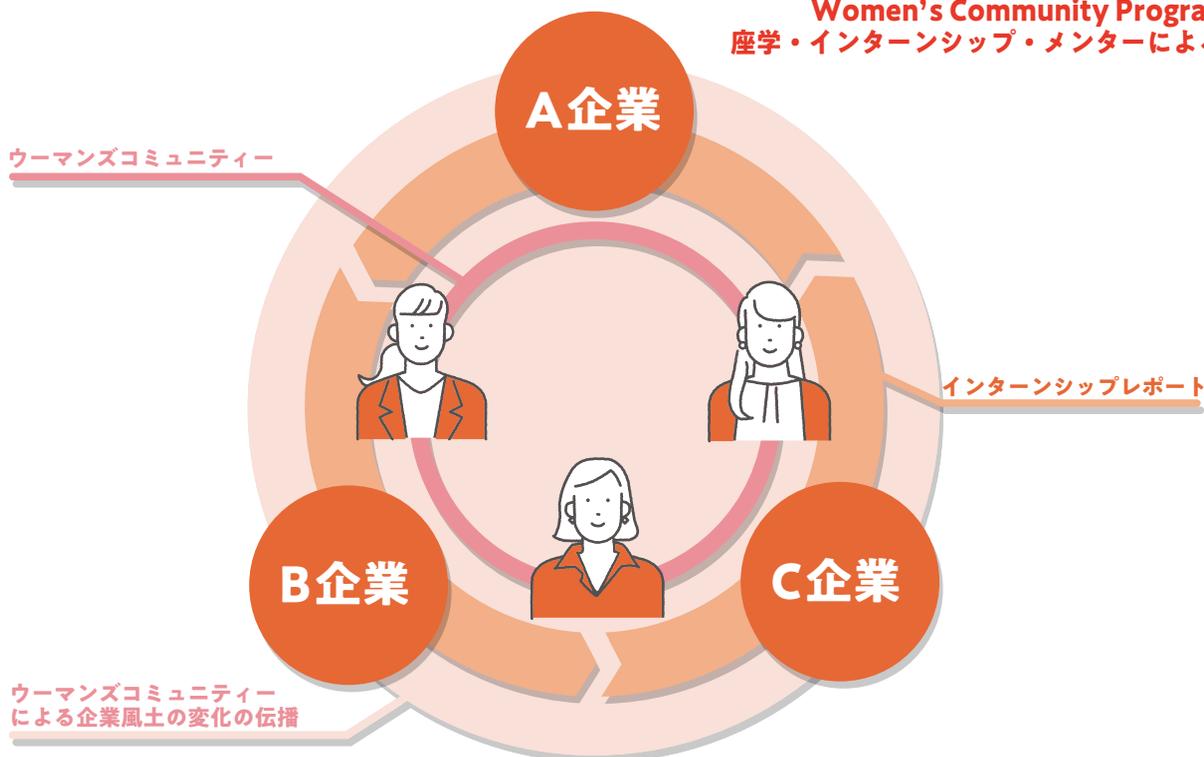


### 吉田 淳子

この度は、メンターとして参加させていただきありがとうございました。メンターをする度に、私自身もキャリアや課題の解決方法をふりかえると共に新たな気づきを得ることができ、感謝しております。皆さんが抱えている思いは、男性、女性問わず「働く人」共通のものであること、そして、少しだけ自信をもつことや見せかたを変えるだけでよい方向に向かうということを忘れずに過ごしていきましょう。私も皆さんを応援しつつ前進していきます。どこかでお会いしたときに皆さんの「一歩前進」を見ることを楽しみにしております。

# インターンシップイメージ

企業研修  
「未来の山梨を作る  
Women's Community Program」  
座学・インターンシップ・メンターによるサポート



## 参加企業コメント

● 本プログラムに参加しようと思った理由について、「どのような経験を社員にさせたいか」を含めてお聞かせください。

- ・社内業務だけではなく、社外の知識を吸収することによる成長を期待します。
- ・よりグローバルな視点を持てる社員を育成したい、また他業種交流に取り組ませたいため。
- ・多角的な視野と知見を養い、他業種の方と交流し人的ネットワークを広げること期待します。
- ・将来、管理職になるための意識付けのため。

● 社員を送り出したことによるメリットをお聞かせください。

- ・参加社員の意識改革が進んだことにより、周りへの波及も始まっています。
- ・多業種交流により知見が広がり、視野が広がることを期待できます。
- ・他企業の女性職員との交流が図られたことから、今後の業務において有益な人脈作りができたと思います。
- ・今後の女性社員の働き方について範を示してくれることが期待できます。

● 本プログラムに対して、ご意見・ご要望がございましたら、お聞かせください。

- ・継続する事が価値になってくると思います。
- ・今後も継続して開催してほしいです。

● 本プログラムに参加した社員について、どのような変化を感じましたか？

- ・意識を高く持ち、業務に取り組む事が出来ています。
- ・代表して参加したので、業務に対する意識がより高くなったと感じます。
- ・女性社員の働き方について真剣に考えるようになりました。

● 再度、本プログラムに参加したいと思いませんか？その理由をお聞かせください。

- ・とても思う：参加社員の意識が向上しているため。
- ・思う：継続することでカリキュラムとして成り立つようになると思えるため。
- ・思う：女性の交流の機会があまりないため。

● 本プログラム全般に対する満足度はいかがですか？そのように回答した理由をお聞かせください。

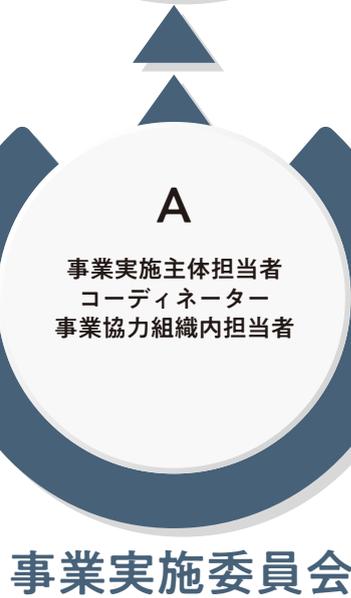
- ・とても満足：参加社員の意識向上につながっています。
- ・どちらとも言えない：コロナにより実施する目的と取り組みが薄れたようです。
- ・満足：コロナ禍でインターンシップが思うようにいかなかったことは残念でしたが、参加者の意識が変わり有意義な研修であったと思います。
- ・満足：社員の意識付けに関しては満足でした。

# 実施体制

## 事業実施主体



## 事業協力・後援



### 事業協力組織

山梨県男女共同参画センター  
甲府市役所  
甲府商工会議所  
山梨県ニュービジネス協議会

### お問い合わせ先

国立大学法人 山梨大学

「未来の山梨を作るウーマンズコミュニティープログラム」事務局

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37

TEL : 055-220-8129 FAX : 055-220-8702

Email : 2020wo\_commu\_uy@ml.yamanashi.ac.jp

ホームページ

